

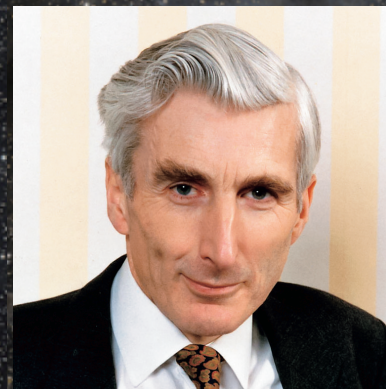
日本学士院客員 マーティン・リース卿 来日記念講演

主催：日本学士院 共催：京都大学【基礎物理学研究所、科研費新技術「加速宇宙」】

マーティン・リース卿

専門：天文学・宇宙物理学

英国王室天文官、元ロンドン王立協会会長、
元ケンブリッジ大学トリニティ・カレッジ学寮長



講演会①（於 京都大学）

【講演一】（講師）マーティン・リース卿 **英語講演**

講演題目：**From Mars to the Multiverse**

（火星からマルチバース（多重宇宙）へ）

【講演二】（講師）井岡 邦仁（京都大学基礎物理学研究所教授）

講演題目：「ブラックホールだらけの宇宙」

日 時：2017年9月30日（土）

午後1時50分～4時30分

場 所：京都大学 北部総合教育研究棟1階 益川ホール

講演会②（於 日本学士院）

（講師）マーティン・リース卿 **英語講演**

講演題目：**The World in 2050 — And Beyond**

（2050年の世界—さらにその先へ）

日 時：2017年10月4日（水）

午後2時30分～（質疑応答を含め2時間程度）

場 所：日本学士院会館（東京・上野公園内）

講演内容の詳細およびお申込方法については裏面をご覧ください。

講演会①（於 京都大学） 9/30（土） 午後1時50分～

講演一

From Mars to the Multiverse
火星からマルチバース（多重宇宙）へ

｜ マーティン・リース卿

英語講演

地上や宇宙空間での強力な観測機器により、天文学者は宇宙空間の原子、銀河、ブラックホールや恒星の観測から始まって、今や約 140 億年前の神秘的な宇宙の「誕生」に至るまで観測的に探求することが可能になった。中でも大きな成果は、太陽以外の多くの恒星も周回する惑星を持ち、それらが生命を秘めている可能性があることがわかってきたことである。こうした先端的研究の進展により新たな疑問も生じている。一体何が膨張宇宙の幾何学や構造など鍵となるパラメータを決定したのか？ また地球外にも生命体はおり、その中には知性を持つ生命体も存在するのか？ ビッグバンは幾度も繰り返されたのか？ 本講演ではこのような謎について、図や写真も用いて紹介したい。

講演二

ブラックホールだらけの宇宙 ｜ 井岡 邦仁（京都大学基礎物理学研究所教授）

アインシュタインが一般相対論を提唱して 100 年目の 2015 年 9 月 14 日にノーベル賞級の大発見がありました。重力波が初めて直接検出されたのです。その波形から連星ブラックホールが合体したことも分かりました。ブラックホールからは光すら出て来られませんが、実はガンマ線バーストなど宇宙で最も激しい現象の多くはブラックホールと関係します。本講演ではブラックホールだらけの宇宙の謎に迫ります。

◎事前にお申し込みが必要です（参加無料・定員 170 名・先着順）

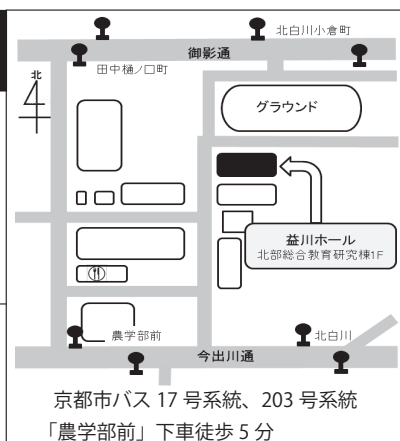
お申込みは 以下のウェブサイトからお願いいたします。

<http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~shimin.kouenkai/lec20170930/lec20170930.html>

お問合せ先

京都大学基礎物理学研究所 市民講演会事務局

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 TEL: 075-753-7000



京都市バス 17 号系統、203 号系統
「農学部前」下車徒歩 5 分

講演会②（於 日本学士院） 10/4（水） 午後2時30分～

The World in 2050 — And Beyond
2050 年の世界—さらにその先へ

｜ マーティン・リース卿

英語講演

地球が誕生してから 45 億年になる。しかし、今世紀は一つの種、つまり人類がこの星の命運を左右する最初の世紀である。90 億、110 億人にも達しようとする人類が、食糧や資源、エネルギーを求めることで、気候や生物多様性が危機にさらされている。さらに、私たちのグローバル化した社会は、強力な新技術——核技術や、それよりも更に力を秘めたバイオ技術、サイバー技術、進化した人工知能など——がもたらす思わぬ結果に対し脆弱である。私たちには、新技術の効用を最大化し、破滅的なリスクを最小化する国際的なガイドラインを作ることが必要である。

司会 佐藤勝彦 日本学士院会員

◎事前にお申し込みが必要です（参加無料・定員 150 名・先着順）

お申込みは メール・FAX・往復ハガキ のいずれかで、住所・氏名（フリガナ）・所属先・連絡先を記載してお送りください。

※本院 HP（<http://www.japan-acad.go.jp/>）からもお申込みできます。

メール gksympo@mext.go.jp

FAX 03-3822-2105

お問合せ先

日本学士院 事務局

〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32 TEL: 03-3822-2101

往復
ハガキ

〒110-0007
東京都台東区上野公園 7-32
日本学士院 事務局



会場
案内図

- ・ JR 上野駅公園口から徒歩 4 分
 - ・ 京成上野駅から徒歩 8 分
 - ・ 東京メトロ上野駅から徒歩 8 分
- ※車での来場はご遠慮ください。